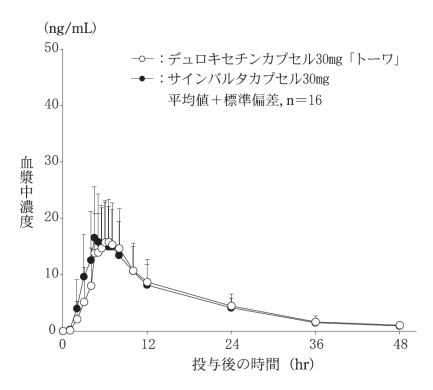
## デュロキセチンカプセル 30mg「トーワ」の生物学的同等性に関する資料

デュロキセチンカプセル 30 mg 「トーワ」とサインバルタカプセル 30 mg を、クロスオーバー法によりそれぞれ 1 カプセル(デュロキセチンとして 30 mg)健康成人男性に絶食(n=16)及び食後(n=15)単回経口投与して血漿中未変化体濃度を測定し、得られた薬物動態パラメータ(AUC、Cmax)について 90%信頼区間法にて統計解析を行った結果、いずれも  $\log(0.80)\sim\log(1.25)$ の範囲内であり、両剤の生物学的同等性が確認された。1)

AUC<sub>0-48</sub>、Cmax:デュロキセチン遊離塩基として表示

## (1) 絶食投与



薬物動態パラメータ

	判定パラメータ		参考パラメータ	
	AUC <sub>0-48</sub> (ng · hr/mL)	Cmax (ng/mL)	Tmax (hr)	T <sub>1/2</sub> (hr)
デュロキセチン カプセル30mg「トーワ」	245. $1\pm110.2$	17. 94±7. 81	5. 78±1. 08	11. $54 \pm 3.02$
サインバルタカプセル30mg	244. $9\pm103$ . 8	18. $17 \pm 8$ . 23	4. $94\pm1.18$	10. $77 \pm 1.89$

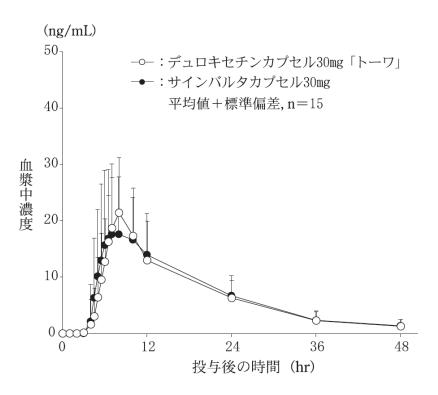
(平均値±標準偏差, n=16)

血漿中濃度並びに AUC、Cmax 等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。

両製剤の判定パラメータの対数変換値の平均値の差及び90%信頼区間

パラメータ	$\mathrm{AUC}_{0\text{-}48}$	Cmax		
平均値の差	$\log(0.9814)$	$\log(0.9750)$		
平均値の差の 90%信頼区間	$\log(0.9245) \sim \log(1.0418)$	$\log(0.8861) \sim \log(1.0729)$		

## (2) 食後投与



薬物動態パラメータ

	判定パラメータ		参考パラメータ	
	AUC <sub>0-48</sub> (ng · hr/mL)	Cmax (ng/mL)	Tmax (hr)	$T_{1/2}$ (hr)
デュロキセチン カプセル30mg「トーワ」	307. $6 \pm 146.3$	22. $36 \pm 10$ . 18	7. $53 \pm 1.08$	9. 83±1. 93
サインバルタカプセル30mg	320. $3\pm154.8$	$22.66 \pm 11.70$	7. $90 \pm 2.34$	9. $94 \pm 2.08$

(平均値±標準偏差, n=15)

血漿中濃度並びに AUC、Cmax 等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。

両製剤の判定パラメータの対数変換値の平均値の差及び90%信頼区間

パラメータ	AUC <sub>0-48</sub>	Cmax	
平均値の差	$\log(0.9778)$	$\log(1.0235)$	
平均値の差の 90%信頼区間	$\log(0.8880) \sim \log(1.0767)$	$\log(0.8958) \sim \log(1.1694)$	

1) 社内資料:生物学的同等性試験